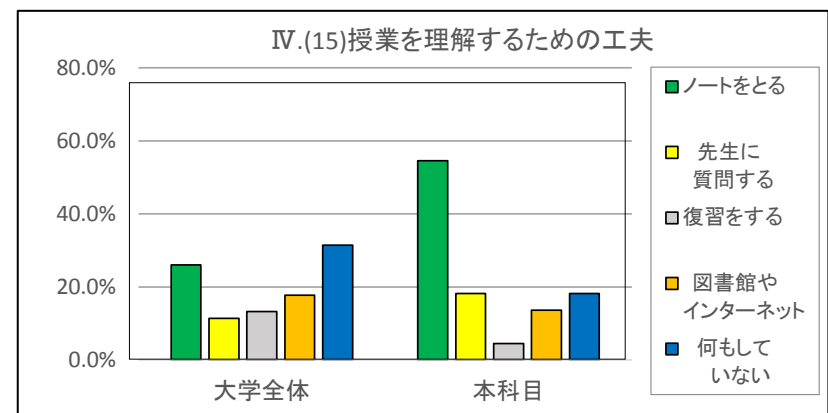


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	54.5%	18.2%	4.5%	13.6%	18.2%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.41	3.45
	I.(2)	3.64	3.56
	I.(3)	2.95	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.91	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.55	3.33
	II.(8)	3.59	3.42
	II.(9)	3.59	3.30
	II.(10)	3.55	3.23
	II.(11)	3.09	3.21
	II.(12)	3.36	3.48
	II.(13)	3.41	3.45
満足度	II.(14)	3.55	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.33	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.38	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.55	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	11107
科目名	子どもと人間関係
教員名	土谷 長子

①授業計画の達成度について

実際の子どもの発達過程や子どもの様子についていろいろなメディアを用いながら伝えている。幼稚園教育は教科教育ではないが、領域としての視点をもって、ねらいを立てたり評価を行うことを意識できることをめざしている。教科教育とは違う難しさがあるのだろうと思う。

②授業の進め方について

机上の整理や私語については常に意識ができるように声をかけている。授業中のやりとりの満足については学生との信頼関係の中で生まれるのであろう。授業中の演習(発表)にあたって、もう少し、事前準備についての具体的な指導をすべきだった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

幼稚園教育・保育について、領域人間関係の視点から、もう少し具体的な演習を取り入れていきたい。